

- 問1 日本の公職選挙法において、衆議院議員や参議院議員などの選挙で、国民が代表者を選ぶ権利（選挙権）を得る年齢と、衆議院議員に立候補できる権利（被選挙権）を得る年齢の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 選挙権：満18歳以上、被選挙権：満30歳以上 | 2. 選挙権：満18歳以上、被選挙権：満25歳以上 | 3. 選挙権：満20歳以上、被選挙権：満30歳以上 | 4. 選挙権：満20歳以上、被選挙権：満25歳以上 |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
- 問2 日本において、選挙権を持つ年齢が満18歳以上に引き下げられた主な背景と、その根拠となる法律の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2017年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 成人年齢の引き上げに合わせ、若者の義務を増やすために日本国憲法が改正された。 | 2. 地方自治を活性化させ、納税者の範囲を広げるために地方自治法が改正された。 | 3. 若者の政治参加を促し、その意見を政治に反映させるため、公職選挙法が改正された。 | 4. 少子高齢化対策として出生率を向上させるため、国民投票法が改正された。 |
|---|---|--|---------------------------------------|
- 問3 最高裁判所から「一票の格差」が著しく大きいとして、違憲あるいは違憲状態との判決が出された際、国会が格差是正のために実施する具体的な対策として、最も一般的な手法はどれですか。（2025年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 有権者数が多い都市部の選挙区においてのみ、有権者全員に二票ずつの投票権を与える制度の実施。 | 2. 選挙区の境界線を引き直し、各選挙区の定数を増減させる「アダプス方式」などの導入。 | 3. 投票率が低い地域の議員定数を削減し、政治への関心が高い地域の定数を増やす措置。 | 4. 全国の有権者数を一定に保つため、人口移動を制限する法律を制定すること。 |
|--|---|--|--|
- 問4 衆議院議員選挙で採用されている「小選挙区比例代表並立制」において、比例代表制が果たしている役割や目的として最も適切な説明を選びなさい。（2016年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 落選者の票である「死票」を減らし、政党への支持を議席数に反映させやすくする | 2. 個々の候補者の知名度や人格を、有権者が直接評価しやすくする | 3. 政権交代が起こりやすい二大政党制を、より強固なものにする | 4. 一票の格差を完全に是正し、人口の少ない地域からの選出枠を確保する |
|--|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
- 問5 選挙制度の一つである比例代表制が、小選挙区制と比較して持っている利点や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 特定の大きな政党が議席の大部分を占めやすくなるため、政権が安定しやすくなる。 | 2. 有権者が候補者個人を直接選ぶため、議員と選挙区の住民との結びつきが非常に強くなる。 | 3. 当選に結びつかない「死票」を減らすことができ、少数派の意見を議席に反映させやすくなる。 | 4. 選挙の管理が簡略化されるため、小選挙区制に比べて選挙費用を大幅に抑えることができる。 |
|---|--|--|---|
- 問6 日本の衆議院議員選挙などの比例代表制で採用されているドント式において、各政党の獲得議席を決定するための計算手順として正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 各政党の総得票数を、1、2、3、4…という整数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。 | 2. 各政党の総得票数を、有権者数で割り、その比率が一定基準を超えた政党にのみ均等に議席を割り当てる。 | 3. 各政党の総得票数を、まず全政党の合計得票数で割り、その割合に定数を掛けて小数点以下を切り捨てる。 | 4. 各政党の総得票数を、1、3、5、7…という奇数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。 |
|--|---|---|--|
- 問7 日本の国政選挙などで導入されている「比例代表制」の特色として、最も適切な説明は次のうちどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 有権者が候補者個人の名前のみを書いて投票し、得票数に関わらず特定の地域から必ず1名が選出される制度である。 | 2. 政党の得票数に応じて議席を配分するため、小選挙区制に比べて死票が少なくなり、多様な意見を反映させやすい。 | 3. 各選挙区で最も得票の多い候補者1人のみが当選するため、二大政党制になりやすく、政局が安定する。 | 4. 得票数の最も少ない政党から順に議席を割り当てることで、少数派の意見を第一に優先する仕組みである。 |
|--|---|--|---|
- 問8 日本国憲法が定める選挙の原則のうち、財産や納税額、性別、学歴などによって選挙権を制限せず、一定の年齢に達したすべての国民に参政権を保障する仕組みを何と呼びますか。（2022年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 直接選挙 | 2. 普通選挙 | 3. 秘密選挙 | 4. 平等選挙 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 日本の政党は、政権を担当する側のグループと、担当せずに批判・監視を行う側のグループに大きく分けられる。それぞれの名称に使われる漢字一字の組み合わせとして、「政権担当側ー批判・監視側」の順に並んでいるものを選びなさい。（2021年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 正 一 副 | 2. 与 一 野 | 3. 野 一 与 | 4. 主 一 従 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問10 選挙制度に関する統計において、ある政党が獲得した「得票率」と、実際に獲得した「議席数」の割合を比較したとき、両者がより一致しやすく、死票を減らす効果が高い制度の説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 1. 候補者個人への得票のみで合否を決定する大選挙区制 | 2. 特定の身分や地位を持つ者のみが投票できる制限選挙 | 3. 各政党の得票数に応じて議席を配分する比例代表制 | 4. 一つの選挙区から一人の当選者を選ぶ小選挙区制 |
|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|
- 問11 インターネット上での意見表明や議論が、現代民主政治において重要視されている理由として最も適切なものを選びなさい。（2022年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 政党や政府が国民からの批判や意見を受けることなく、効率的に情報発信する手段となるため。 | 2. 国民が主権者として主体的に情報を集めて意見を交わし、政治への直接的な関与を高めることができるため。 | 3. 代表者を選出する間接民主制を廃止し、すべての法律制定をオンライン投票で完結させることができるため。 | 4. マスメディアからの受動的情報受領を徹底させることで、世論の混乱を防ぐことができるため。 |
|--|--|--|--|
- 問12 日本の国会における参議院議員の選挙制度について、議員の任期と、通常選挙が行われる周期および改選される範囲の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2026年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 議員の任期は4年であり、4年ごとに定数の全員を選挙する | 2. 議員の任期は6年であり、3年ごとに定数の半数を選挙する | 3. 議員の任期は6年であり、6年ごとに定数の全員を選挙する | 4. 議員の任期は4年であり、2年ごとに定数の半数を選挙する |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問13 日本では2015年に公職選挙法が改正され、選挙権を持つ年齢が引き下げられました。これに関連して、納税額や性別といった条件によって参政権を制限せず、一定の年齢に達したすべての国民に選挙権を保障する制度の原則を何といいますか。（2017年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 平等選挙 | 2. 秘密選挙 | 3. 普通選挙 | 4. 直接選挙 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 選挙権：満18歳以上、被選挙権：満25歳以上	かつて選挙権は満20歳以上とされていましたが、若者の政治参画を促すために2016年に満18歳以上へと引き下げられました。一方で立候補できる年齢である被選挙権については、衆議院議員は満25歳以上と定められており、選挙権を得る年齢と被選挙権を得る年齢には差があるのが現状です。
問2	答え 3 若者の政治参加を促し、その意見を政治に反映させるため、公職選挙法が改正された。	少子高齢社会が進行する中で、次世代を担う若者の声を政治に届きやすくすることが改正の大きな目的です。諸外国の多くが18歳以上に選挙権を認めている現状も考慮され、公職選挙法の改正によって2016年に実施されました。憲法の改正ではなく法律の改正によって行われた点も重要です。
問3	答え 2 選挙区の境界線を引き直し、各選挙区の定数を増減させる「アダムズ方式」などの導入。	格差を是正するためには、人口の変動に合わせて議員定数の配分を見直す必要があります。具体的には、人口の少ない県の定数を減らし、人口の多い県の定数を増やす「増減（そうげん）」や、都道府県の人口比をより正確に反映させる「アダムズ方式」といった計算手法が採用されています。これにより、選挙区ごとの有権者数の差を一定の倍率以内に収める努力が続けられています。
問4	答え 1 落選者の票である「死票」を減らし、政党への支持を議席数に反映させやすくする	小選挙区制は、最多得票者以外に投じられた票がすべて死票になるため、大政党に有利な制度です。これに対して比例代表制は、得票率に応じた議席配分を行うため、死票を抑えるとともに、小規模な政党の意見も議会に反映させやすいという利点があります。この両者を組み合わせることで、政権の安定と多様な意見の反映の両立を図っています。
問5	答え 3 当選に結びつかない「死票」を減らすことができ、少数派の意見を議席に反映させやすくなる。	比例代表制は、得票数に応じて議席を分かち合う仕組みであるため、小選挙区制で課題となる「死票（当選に結びつかなかった票）」が少なくなるというメリットがあります。これにより、規模の小さい政党であっても議席を獲得できる可能性が高まり、多様な国民の意見を議会に届けることが可能になります。これに対し、大きな政党が有利になりやすく、政治が安定しやすいのは小選挙区制の主な特徴です。
問6	答え 1 各政党の総得票数を、1、2、3、4…という整数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。	ドント式は、比例代表制において議席を各政党の得票数に応じて配分するための計算方法です。各政党の得票数を1、2、3…と整数で順次割っていき、得られた数値（商）をすべての政党で比較して、数値の大きい順に定数に達するまで議席を割り振ります。これにより、得票数に比例した議席配分が可能になります。
問7	答え 2 政党の得票数に応じて議席を配分するため、小選挙区制に比べて死票が少なくなり、多様な意見を反映させやすい。	比例代表制は、各政党の総得票数に比例して議席を割り当てる制度です。1つの選挙区から1人の当選人を選ぶ小選挙区制では、落選者に投じられた票が「死票」となりやすいのに対し、比例代表制はこれらの死票を減らし、小規模な政党でも議席を獲得しやすくすることで、議会に国民の多様な意見を反映させられるという利点があります。
問8	答え 2 普通選挙	かつての日本では納税額による制限選挙が行われていましたが、現代の民主主義社会では、一定の年齢（日本では満18歳以上）に達すれば誰でも投票できる仕組みがとられています。これを普通選挙と呼びます。これに対し、1票の価値を等しく扱うことを「平等選挙」、誰に投票したか秘密を保つことを「秘密選挙」、有権者が自分で直接代表者を選ぶことを「直接選挙」といいます。
問9	答え 2 与 — 野	政権を「与（あた）えられた」側という意味を持つ「与党」と、政権の外である「野（の）」にある側という意味を持つ「野党」という言葉が用いられる。この二つの立場が議論を戦わせることで、民主主義的な政治運営が行われる。
問10	答え 3 各政党の得票数に応じて議席を配分する比例代表制	比例代表制は各政党の支持の広がり（得票率）に合わせて議席を割り振るため、小選挙区制のように「第1党以外の票がすべて無効になる」といった現象が起きにくくなります。その結果、多様な民意を議席数に反映させることが可能になりますが、一方で小政党が乱立して政局が不安定になる可能性も持ち合わせています。
問11	答え 2 国民が主権者として主体的に情報を集めて意見を交わし、政治への直接的な関与を高めることができるため。	インターネット上での意見表明は、有権者が単に情報を受け取るだけでなく、自ら考えを発信して多様な人々と議論することを可能にします。これにより、国民が主権者意識を持ち、より積極的に政治へ関与できるようになります。
問12	答え 2 議員の任期は6年であり、3年ごとに定数の半数を選挙する	参議院には衆議院のような解散がないため、議員は定められた6年の任期を全うします。一度に全員を入れ替えるのではなく、3年ごとに定数の半分ずつを入れ替える「半数改選」の仕組みをとることで、政治の継続性を確保しながら、定期的に有権者の新しい意思を国政に反映させることが可能となっています。
問13	答え 3 普通選挙	かつての日本では、直接国税の納税額によって選挙権が制限されていたり、女性に参政権が認められていなかったりする時期がありました。しかし、現在の日本国憲法第15条第3項では、成年者によるこの原則が保障されています。2015年の公職選挙法改正により、この権利を行使できる年齢は満20歳以上から満18歳以上に引き下げられました。